

「栃木県南地域における水道水源確保に関する検討(案)」の概要

総合政策部 保健福祉部 県土整備部

1 基本方針

県南地域において、以下の点を踏まえ、将来にわたり安全な水道水の安定供給を確保するため、地下水から表流水への一部転換を促進し、地下水と表流水のバランスを確保することとする。

- ① 県南地域における地下水依存率は高く、栃木市をはじめとする2市2町は全量を地下水のみに依存しており、地下水の代替水源としての表流水を全く有していない。
- ② 県南地域においては、地盤沈下や地下水汚染が危惧されており、水道水源を地下水のみに依存し続けることは望ましくない。
- ③ 異常気象による渇水リスクが高まる中、県南地域には水道水源として利用できる水資源開発施設がない。
- ④ 水資源開発には相当な期間を必要とすることから、長期的な展望に立って、事前対策を講じていく必要がある。

2 地下水と表流水のバランス確保のための目標設定

(1) 対象区域 : 栃木市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町の
2市3町

(2) 目標年度 : 平成42年度

(3) 地下水依存率の目標 : 基本目標 40%
: 中間目標 65% ※

※目標年度(平成42年度)に達成する水準

(4) 水需要予測 : 計画一日最大給水量 96,200 m³/日
: 計画一日最大取水量 100,000 m³/日

(5) 地下水の最大取水量の目標 : 65,000 m³/日

※計画一日最大取水量の65%に相当する量